

登録コード	E7130300	開講年度	2026			
授業科目	比較教育学演習				担当教員	林 寛平
英文授業名	Seminar on Comparative Education I				副担当	
単位数	2	講義期間	後期(隔週A)	曜日・時限	木曜・2時限～3時限前半	対象学生
講義室	教育N305		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	2000年代に入り、国際学力調査の結果が各国のメディアで大きく取り上げられ、「比較教育学」が再び注目を集めている。この授業では「比較教育学」の歴史と方法論を紹介するとともに、教科書等にもとづき世界各国の学校教育制度とカリキュラムの成り立ちを検討する。					
(5)授業計画	第1回：ガイダンス「比較教育学」とはどのような学問か 第2回：「比較教育学」の歴史と方法 第3回：各国の学校制度とカリキュラム アメリカ 第4回：各国の学校制度とカリキュラム ドイツ 第5回：各国の学校制度とカリキュラム 韓国 第6回：各国の学校制度とカリキュラム スウェーデン —課題 提出 第7回：学校系統図を作る ISCEDを理解し、学校制度の統一形式を学ぶ 第8回：学校系統図を作る 各国の学校制度を調べる 第9回：学校系統図を作る 各国の学校制度を図にまとめ、比較する —課題 提出 第10回：国際学力調査、全国学力・学習状況調査の読み方 第11回：国際調査から各国の教育の特徴を特定する 調べる 第12回：国際調査から各国の教育の特徴を特定する まとめる 第13回：各国の学校系統図と教育の特徴を一覧表にまとめ、比較する —課題 提出 第14回：我が国の教育政策の動向を比較の視点から分析する					
(6)成績評価の方法	成績評価は授業内課題(100%)です。第6回には各国の学校制度とカリキュラムについてのレポート(課題)、第9回には各国の学校系統図(課題)、第13回には各国の学校系統図と教育の特徴を一覧表にまとめたレポート(課題)の提出を求めます。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	各国の教育制度の情報を正確かつ適切に収集できるか(課題)、ISCED等の統一形式の意義を理解し、適切に活用できるか(課題)、比較対象のレイヤーを揃えて的確に分析できるか(課題)について、すべての項目を満たしている場合には「卓越している」あるいは「かなり上にある」と評価する。					
(8)事前事後学習の内容	事前学習課題については、eALPS上あるいはfacebookのグループページ上で掲示しますので、授業前に取り組んでください。また、演習課題では、授業時間外の学習が必要になります。この授業は90時間の学修を必要とする内容です。したがって、60時間以上の時間外学習が必要となります。					
(9)履修上の注意	外国語文献を多く扱いますので、基礎的な読解力が必要です。 授業評価アンケートを実施する場合にはご協力をお願いします。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問・相談等は事前にメールでアポイントメントをとっていただければ随時対応します。 メールアドレス：kampei@shinshu-u.ac.jp					
【教科書】	二宮皓編著『世界の学校—グローバル化する教育と学校生活のリアル』学自出版、2023。 (ISBN:9784761929077)					
【参考文献】						